

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年7月19日 (2012.7.19)

【公開番号】特開2010-262285(P2010-262285A)

【公開日】平成22年11月18日 (2010.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-046

【出願番号】特願2010-101374(P2010-101374)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 5 7 8

H 0 4 N 1/00 C

H 0 4 N 1/40 D

H 0 4 N 1/46 Z

G 0 3 G 15/01 S

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 5/30 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月1日 (2012.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力された画像データの明るさに関する情報を当該明るさよりも明るい情報への変換処理をする画像処理部と、

画像データを消去不可能な第 1 の色材により記録媒体に記録を行う第 1 の記録部と、

前記画像処理部により画像処理された前記画像データを消去可能な第 2 の色材により前記記録媒体に記録を行う第 2 の記録部と、

を具備することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記消去不可能な第 1 の色材は、消去不可能な第 1 のトナーであり、

前記消去可能な第 2 の色材は、消去可能な第 2 のトナーである、

ことを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

画像データを入力する画像入力部と、

前記画像入力部により入力された前記画像データの明るさに関する情報を当該明るさよりも明るい情報への変換処理を含まない第 1 の画像処理、又は前記明るい情報への変換処理を含む第 2 の画像処理の選択を可能とする画像処理部と、

前記第 1 の画像処理が選択された場合、前記画像処理部により画像処理された前記画像

データを消去不可能な第 1 の色材により記録媒体に記録を行う第 1 の記録部と、

前記第 2 の画像処理が選択された場合、前記画像処理部により画像処理された前記画像データを消去可能な第 2 の色材により前記記録媒体に記録を行う第 2 の記録部と、
を具備することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 4】

画像データを入力する画像入力部と、

前記画像入力部により入力された前記画像データの明るさに関する情報を当該明るさよりも明るい情報への変換処理を含まない第 1 の画像処理を行う第 1 の画像処理部と、

前記画像入力部により入力された前記画像データの明るさに関する情報を当該明るさよりも明るい情報への変換処理を含む第 2 の画像処理を行う第 2 の画像処理部と、

前記第 1 の画像処理が選択された場合、前記第 1 の画像処理部により画像処理された前記画像データを消去不可能な第 1 の色材により記録媒体に記録を行う第 1 の記録部と、

前記第 2 の画像処理が選択された場合、前記第 2 の画像処理部により画像処理された前記画像データを消去可能な第 2 の色材により前記記録媒体に記録を行う第 2 の記録部と、

前記第 1 又は前記第 2 の記録部のうちいずれかで前記記録媒体への記録を行うかの選択を行う記録選択部と、

を具備することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 5】

前記第 2 の画像処理が選択されると、前記明るさに関する情報として明度成分又は輝度成分を変換する、又は前記画像データの濃度の濃淡を強調する少なくともいずれか一方を行うことを特徴とする請求項 3 又は 4 記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記第 2 の画像処理が選択されると、前記消去可能な前記第 2 の色材により記録を行う旨を報知する報知部を有することを特徴とする請求項 5 記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記報知部により前記消去可能な前記第 2 の色材により記録を行う旨の報知が行われると、前記画像入力部により入力された前記画像データの明るさよりも明るく記録して良いか否かの選択を促す記録選択部を有することを特徴とする請求項 6 記載の画像形成装置。

【請求項 8】

画像形成装置のコンピュータに、

画像データを入力させる画像入力機能と、

前記画像入力機能により入力された前記画像データの明るさに関する情報を当該明るさよりも明るい情報への変換処理を含まない第 1 の画像処理、又は前記明るい情報への変換処理を含む第 2 の画像処理の選択を可能とする画像処理機能と、

前記第 1 の画像処理が選択された場合、前記画像処理機能により画像処理された前記画像データを消去不可能な第 1 の色材により記録媒体に記録を行わせる第 1 の記録機能と、

前記第 2 の画像処理が選択された場合、前記画像処理部により画像処理された前記画像データを消去可能な第 2 の色材により前記記録媒体に記録を行わせる第 2 の記録機能と、
を実現することを特徴とする画像形成制御プログラム。

【請求項 9】

前記画像処理機能は、前記第 2 の画像処理が選択されると、前記明るさに関する情報として明度成分を変換する、又は前記画像データの濃度の濃淡を強調する少なくともいずれか一方を行うことを特徴とする請求項 7 記載の画像形成制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

実施の形態の画像形成装置によれば、入力された画像データの明るさに関する情報を当

該明るさよりも明るい情報への変換処理をする画像処理部と、画像データを消去不可能な第１の色材により記録媒体に記録を行う第１の記録部と、画像処理部により画像処理された画像データを消去可能な第２の色材により記録媒体に記録を行う第２の記録部とを具備する。

実施の形態の画像形成装置によれば、画像データを入力する画像入力部と、画像入力部により入力された画像データの明るさに関する情報を当該明るさよりも明るい情報への変換処理を含まない第１の画像処理、又は明るい情報への変換処理を含む第２の画像処理の選択を可能とする画像処理部と、第１の画像処理が選択された場合、画像処理部により画像処理された画像データを消去不可能な第１の色材により記録媒体に記録を行う第１の記録部と、第２の画像処理が選択された場合、画像処理部により画像処理された画像データを消去可能な第２の色材により記録媒体に記録を行う第２の記録部とを具備する。